

シンフォニー



128 号令和 4 年 7 月 1 日
社会福祉法人 七恵会
第三長上苑 発行

7月以降の面会について

コロナ禍の中、ご家族の皆様のご協力を受けて感染予防対策を講じて参りました。その結果、施設内に感染がひろがることなく運営ができておりますことを、心より感謝申し上げます。

この度、現在の感染状況を踏まえ、直接面会を7月から下記の内容で実施して参ります。

なお、今後の感染の状況により面会方法の変更があることを、ご承知おきください。

感染対策をいっそう、徹底して参りますので、何卒皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1. 面会できる方 (a か b.のどちらかを満たしている方)

a. 新型コロナワクチンを3回接種後 2 週間以上経過している方 そのため、接種証明等の確認が必要となります。

b. 72時間以内に PCR 検査を実施し、陰性証明をお持ちの方

□a か b.のどちらかを満たしており、当日、来苑時の体調確認シートのチェックで確認のとれた方

2. 面会方法について

□面会については、お電話による予約制とさせていただきます

□面会時間は、月曜日～金曜日の 9:00～11:30 13:30～17:00 となります

□面会できる人数は、1回に3人以内です

□面会時間、15 分以内です

□面会場所は、居室内です

□面会時には、マスク着用と施設内での飲食は禁止とさせていただきます

3. 看取り期の面会について

□面会可能となる方は、上記と同じとなります

□面会時間は 15 分以内とさせていただきます、月曜日～日曜日となります

※詳しくは、予約時に説明させていただきます

施設長 水谷秀夫

4回目のコロナワクチン接種について

7月より接種日は未定ですが、入居者様の4回目のコロナワクチン接種を実施致します。

感染予防の為に全員接種を予定しております。接種につきましては前回同様、嘱託医が来苑して接種致します。

「接種希望申込書」にご記入いただき、早めに事務所まで提出をお願いいたします。

今後もいっそうの感染症対策を図って参ります。ご家族の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

看護師

聖隷クリストファー大学での講義を担当して

6月17日(金)に聖隷クリストファー大学社会福祉学部で、2年生を対象に講義を行いました。私が担当したのは社会福祉士資格取得のための「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に関する部分でした。

事前に大学の先生から「特別養護老人ホームについてイメージが湧くような講義をお願いしたい」とのお話をいただいていたので、それに沿うように話を進めました。法人・施設の概要から始まり、施設での入居者様の暮らしぶり、そして場合によっては施設が終の棲家になることまでお話させていただきました。学生さんたちは真剣な眼差しでメモをとりながら聴いていました。最後に私自身の実習での体験談や生活相談員の業務ややりがいについてのお話をして講義を終えました。大学から依頼があった時には少し不安もありましたが、無事講義を終え社会貢献の一環として業務を果たせとの思いと良い経験をさせていただいた感謝の思いを抱きながら大学を後にしました。

今後も地域・社会からのニーズに出来る限り応えていき、少なからず貢献していきたいと思っています。

生活相談員 船戸 綾花

◎『介護保険負担限度額認定証』と『社会福祉法人等利用者負担軽減対象確認証』が8月1日より新しくなります。該当されている方には区役所より更新申請書類が届きますので、更新手続きをお願い致します。申請後、証書が届きましたら事務所までご提出をお願いいたします。

また、これから新規に申請される方のために、申請書類を同封いたしましたので、ご活用下さい。※明らかに要件に該当しない場合は、申請をする必要はございません。

◎『後期高齢者被保険者証』も8月1日より新しくなります。新しい被保険者証が届きましたら、事務所まで提出いただけますようお願い申し上げます。

相談係

7月の行事食

7月22日(金) うな玉井 (土用の丑)

江戸時代に平賀源内が広めたという(土用の丑の日)が、今年は7月23日(土)です。施設では1日早い22日にうなぎを提供致します。梅雨の明ける時期に、タンパク質とビタミン豊富なうなぎを召し上がっていただき、暑い夏を乗り切りたいと思います。

また、1日(金)は、冷やしそうめん、7日(木)は、ちらし寿司も提供致します。それぞれの方に合わせた食事形態で、夏らしい食事をお楽しみいただきます。

管理栄養士 名畑三千恵



レクリエーション活動など 海を見に行きました



7月の行事予定

6月10日(金)には、行事委員会主催で久しぶりに外出企画を行いました。

行き先は「浜松市舞阪表浜東駐車場」です。東日本大震災を教訓に、2014年4月から6年9ヶ月をかけて天竜川河口から浜名湖まで防潮堤が建設されました。今回は、その防潮堤の上の歩道を散歩して遠州灘を眺め、雄大な景色を満喫致しました。

「きれいだね。海なんて何年振りかねえ？」
 「こんな大きい堤防ができたなんて知らなんだよ。」
 「いいとこだねえ、また来たいね。」

眼前に広がる海を見て、入居者の皆様に大いに喜んでいただきました。

入居者様の身体状態の理由もあって、すべての入居者様をお連れすることができないのは残念ですが、委員会の席で「海を見せてあげたいね。」と発言した職員の一言が実現し、入居者様に楽しんでいただくことができました。

今後も入居者の皆様に感動を与えるような企画を行って参ります。



おやつ

6月に幸と愛ユニットでは、おやつにカルピス桃ゼリーとクレープを作りました。

入居者様に生地を混ぜて、トッピングも刻んでいただきました。家事をしていた頃感覚で楽しそうに手を動かしていらっやいました。「昔はクレープなんて無かっただに。」
 「いい匂い、美味しいね。」

自分たちで作ったおやつをみんなで食べると美味しさも格別です。

皆様で楽しめるおやつをまた作りたと思っています。



リスク委員会について

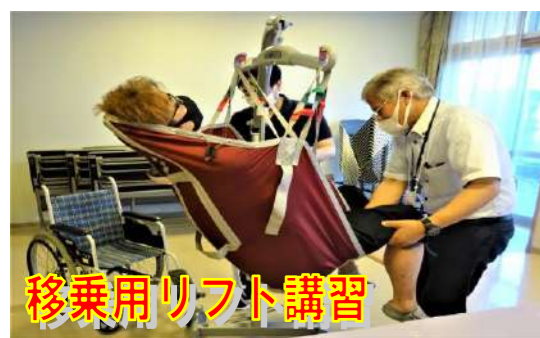
「リスク委員会」は、入居者様の事故、けがの防止、さらには防災についても、検討し対策を立てる委員会です。

事故は食事、入浴、排泄(トイレ)といった介助の必要な時だけでなく、歩行時や居室内など日常の様々な場面に潜んでいます。

入居者様の中には、病気などにより思いがけない動きをされることがありますが、職員が事故から入居者様を守るために事例検討、環境整備、職員の情報共有・教育などを行って参ります。

小さな危険も見逃さず、安全で快適な施設になるよう活動して参ります。

第三長上苑リスク委員会



移乗用リフト講習



防災訓練

実習生



実習生・大杉らら

6月9日から7月15日まで 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校2年生の「大杉らら」さんが実習を行っています。

介護人材の不足は、介護の大きな課題となっていますが、こうした若い人が、介護に興味を持ってくれることは頼もしい限りです。

今回の実習にあたって、「今回の実習では、今まで学んだことを元に実際に介護計画の作成を行い、さらに理解を深めたいと思っています。」と抱負を語ってくれました。

将来の介護を担う人材となるべく実りある実習となるよう支援していきます。

赤えんぴつ

「心に愛がなければ、どんなに美しい言葉も相手の胸に響かない」(聖パウロの言葉)

朝早くのラジオ番組のオープニングに使われていた言葉です。当時は介護の仕事はしていませんでしたが、若いこともあって気にも留めませんでした。今、入居者の皆様と毎日接していて感じるのは、この言葉の通りで認知症が進んで、直前のことをすぐに忘れてしまうような方でも、その場しのぎの言葉は通用しないということです。

目を見て穏やかなトーンで、ゆっくり話しかければ、内容は理解できなくてもこちらの言葉に耳を傾けてくれます。

その積み重ねがやがて、この人は自分を分かろうとしてくれている人だと思って、職員を信頼してくれるようになります。

そうした入居者様の気持ちを大切にしたいケアを、第三長上苑は目指しています。

第三長上苑 守屋三千夫